

津山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	福祉心理学
科目基礎情報					
科目番号	0134		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(機械システム系)		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	教科書: 佐藤康生他「福祉心理学」改訂版(学芸図書株式会社)				
担当教員	数木 登				
到達目標					
学習目的: 社会心理学、臨床心理学他の基礎理論と心理学実験を通して、心理学の専門的知識、柔軟な思考力、総合的な判断力を養成するのが目的である。					
到達目標 1.医療・福祉などの多分野に渡る人間理解と実践行動について知る。 2.広く社会に貢献するための無限の人間の力を尊重する態度、それを実践するための知識や技術を知る。 3.科学的な人間理解の態度、そのための心理学的知識と方法を知る。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	医療・福祉などの多分野に渡る人間理解と実践行動についてよく知る	医療・福祉などの多分野に渡る人間理解と実践行動について概ね知る	医療・福祉などの多分野に渡る人間理解と実践行動について知る	左記に達していない。	
評価項目2	広く社会に貢献するための無限の人間の力を尊重する態度、それを実践するための知識や技術をよく知る。	広く社会に貢献するための無限の人間の力を尊重する態度、それを実践するための知識や技術を概ね知る。	広く社会に貢献するための無限の人間の力を尊重する態度、それを実践するための知識や技術を知る。	左記に達していない。	
評価項目3	科学的な人間理解の態度、そのための心理学的知識と方法をよく知る。	科学的な人間理解の態度、そのための心理学的知識と方法を概ね知る。	科学的な人間理解の態度、そのための心理学的知識と方法を知る。	左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	一般・専門の別: 専門 学習の分野: 融合科目・その他 基礎となる学問分野: 工学/機械工学/知能機械学・機械システム 学習教育目標との関連: ④分野横断的な融合力の育成 ⑤グローバルな視点と社会性の養成 ⑥課題探求・解決能力の育成 ⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成 授業の概要: 福祉心理学では、科学的な人間理解の能力と、積極的に他者とかわりあうことのできる感受性、そして豊かな人間性を育むことについて学習する。				
授業の進め方・方法	授業の方法: 教科書に基づき、パワーポイントおよび板書により行う。 成績評価方法: 定期試験(2回)および演習課題(数回)により評価を行う。具体的には定期試験70%, 演習課題30%。 再試験は実施しない。				
注意点	履修上の注意: 本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修(欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下)が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス: 毎週授業を受ける前に、シラバスを確認し、該当内容を事前に調べること。 基礎科目: 倫理(1年)、技術者倫理(5年) 関連科目: 医療福祉工学(5年)、福祉機器設計(5年) 受講上のアドバイス: 授業時間外に予習・復習や課題への取り組みを必ず行い、レポートを提出すること。授業内容で理解できない場合は、教員に聞きにくること。25分以上の遅刻は1欠課、75分以上の遅刻は2欠課として扱う。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
履修選択					
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス: 福祉心理学とは		本年度は開講しない
		2週	対人援助専門職の論理及び価値		対人援助専門職の論理及び価値について理解する
		3週	相談援助職としての基本的視点		相談援助職としての基本的視点について理解する
		4週	自己覚知と他者理解について		自己覚知と他者理解について理解する
		5週	ソーシャルワークの原理原則		ソーシャルワークの原理原則について理解する
		6週	児童・障害者心理		児童・障害者心理について理解する
		7週	(前期中間試験)		
		8週	前期中間試験の答案返却と試験解説		
	2ndQ	9週	高齢者心理		高齢者心理について理解する
		10週	認知症へのソーシャルワーク		認知症へのソーシャルワークについて理解する
		11週	施設や機関における心理的支援		施設や機関における心理的支援について理解する

		12週	援助面接技術口相談－ルプレイ	援助面接技術口相談－ルプレイについて理解する
		13週	相談援助とスーパービジョン	相談援助とスーパービジョンについて理解する
		14週	福祉心理のまとめ	福祉心理のまとめについて理解する
		15週	(前期末試験)	
		16週	前期末試験の答案返却と試験解説	
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	後期中間試験の答案返却と試験解説	
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週	(後期末試験)	
		16週	後期末試験の答案返却と試験解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0